

「2018年上期の回顧と下期の展望」

～大統領選を直前に控えて - 変化の時期への準備と戦略は～

機械金属部会

植田 真五

2018年8月23日

目 次

1. マクロ指標関連

2. セグメント別状況

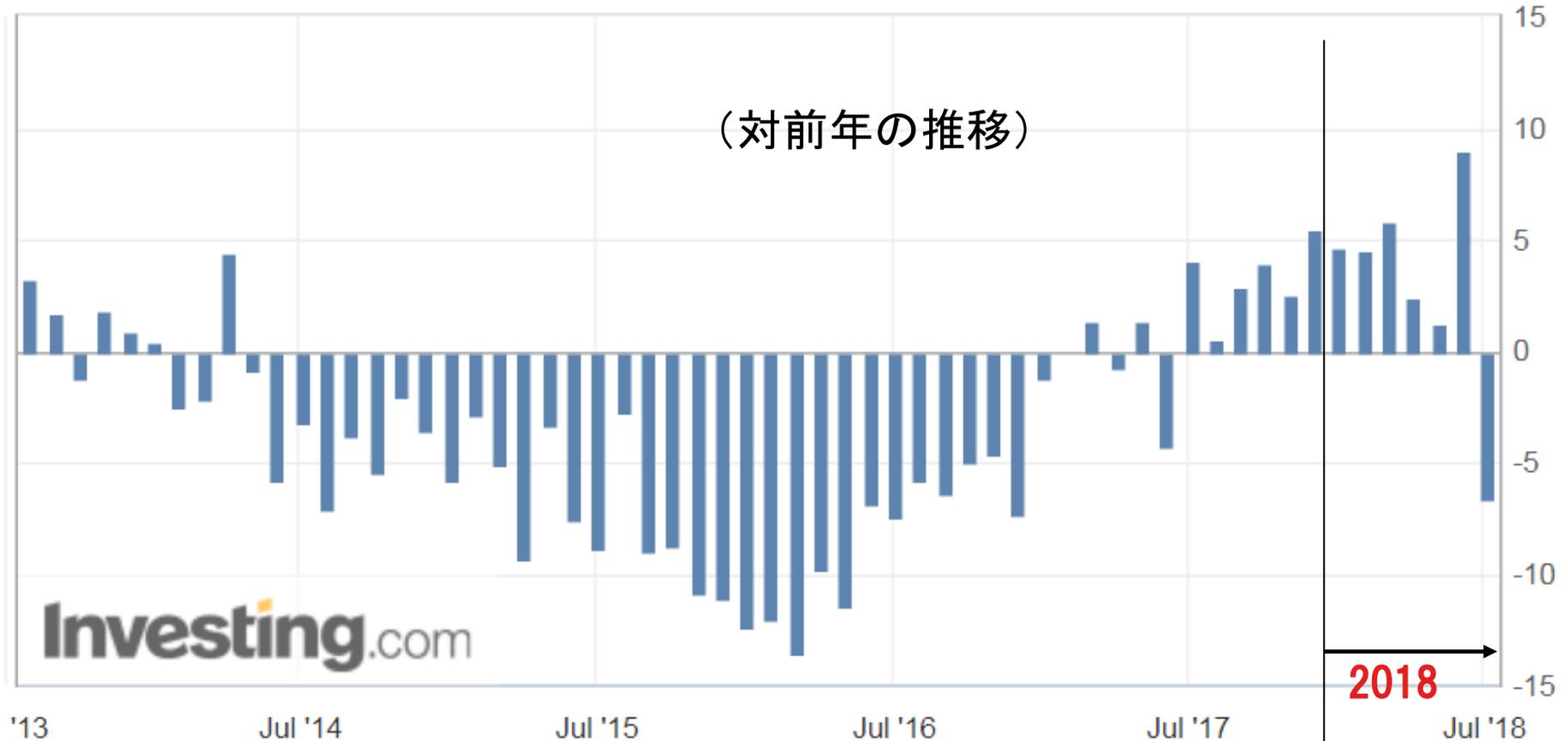
- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械
- (4) 自動車その他の産業関連
- (5) オイル&ガス、紙パルプ
- (6) 業務用空調

3. 副題 大統領選を直前に控えて － 変化の時期への準備と戦略は －

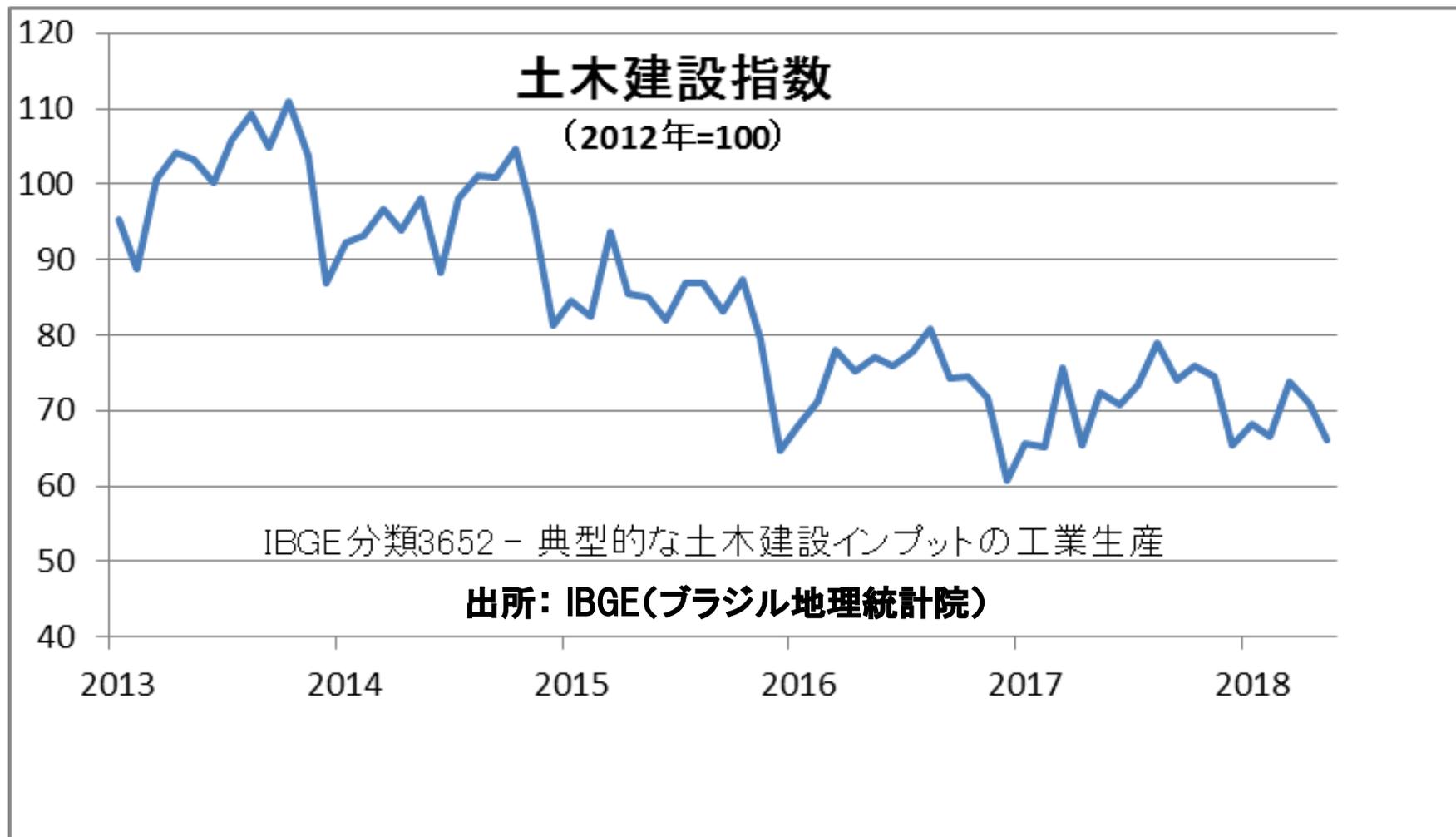
1. マクロ指標(1)

ブラジル鉱工業生産

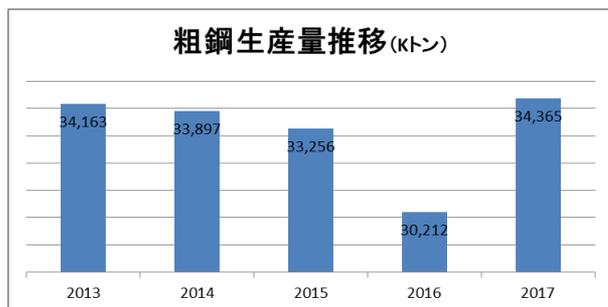
出所: IBGE(ブラジル地理統計院)



1. マクロ指標 (2)



2. セグメント別状況(1) 鉄鋼



2018年1-5月実績 数量: 千トン、前年同期比、ブラジル鉄鋼協会 (IABr)

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼	14,272	*1.4%	7,058	7.7%	5,430	-11.0%
圧延鋼板	5,977	7.9%	4,181	9.0%	1,030	-17.1%
形鋼	3,789	5.9%	2,777	6.9%	769	13.4%
スラブ	3,443	-0.3%	33	-38.9%	3,387	-16.7%
他	460	2.7%	67	4.7%		
	*4月までは対前年比+4.1%			輸入	1,033	1.0%

《上期の回顧》

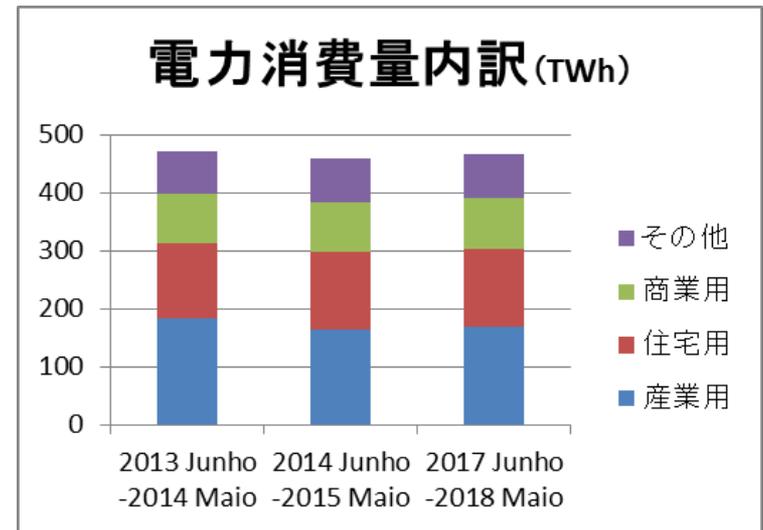
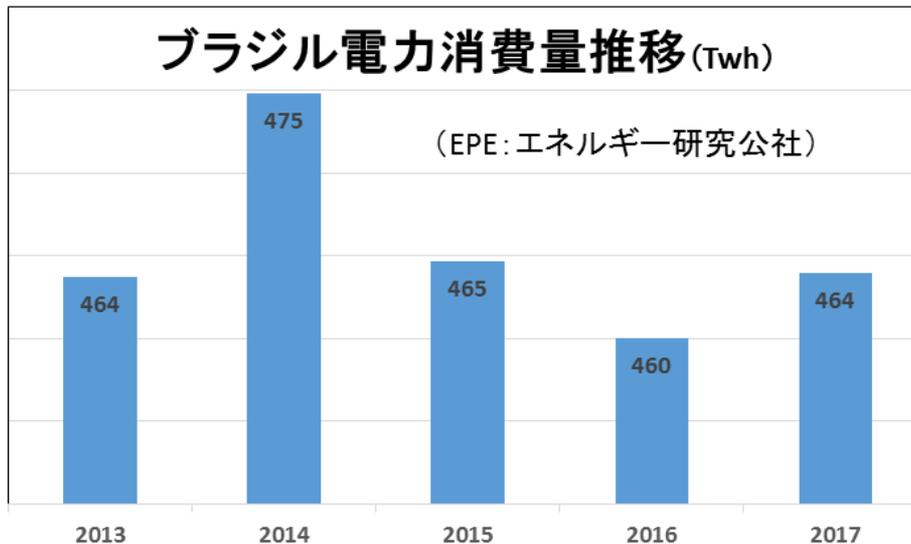
1. 生産 2017年に引き続き対前年比で増加するも、5月のトラック運転手ストの影響により減速
2. 国内販売 自動車業界の牽引により増加傾向にあるが、建設業界等、依然として需要が低迷している業界もあり、盛上りに欠ける。
3. 輸出 対前年比で減少傾向。
4. 輸入 国内景気回復もあり、若干増加傾向。

《下期の展望》

次の事情から不透明な状況が継続しており、今後の動向を注視する必要がある。

1. 5月下旬～6月上旬に行われたトラック運転手ストの影響に伴う景気停滞
2. 大統領選挙
3. アルゼンチン通貨安に伴う自動車等の輸出販売への影響
4. 米国の保護貿易措置等

2. セグメント別状況(2) 電力



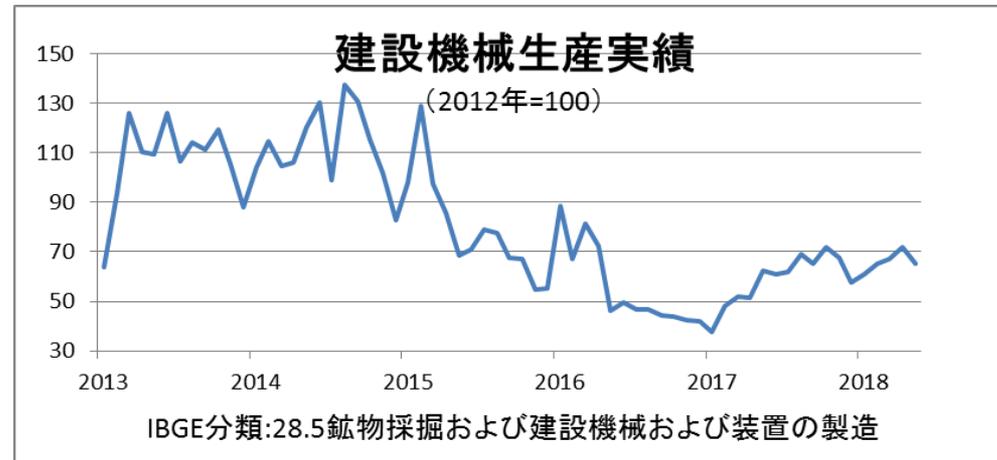
《上期の回顧》

1. ブラジル電力消費は、2017年に前年を上回り、本年5月までの一年間の消費量も、特に産業用の増加により、前年同期を上回っている。
2. 5月前年同月比では、トラックストの影響に関わらず対前年同期比で2.9%増加。
(自動車:+13.4%、化学:+5.4%、プラスチック:+3.8%、金属:+3.4%)

《下期の展望》

1. エレトロブラスの民営化延期等、電力設備投資を巡る動向は不透明であり、引き続き、状況を注視する必要がある。
2. 当部会関連企業が関係するバイオマス関連の新規案件の動きは低調。

2. セグメント別状況(3) 建設機械



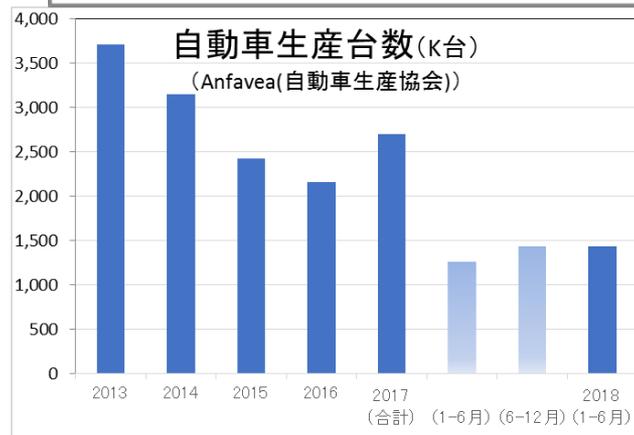
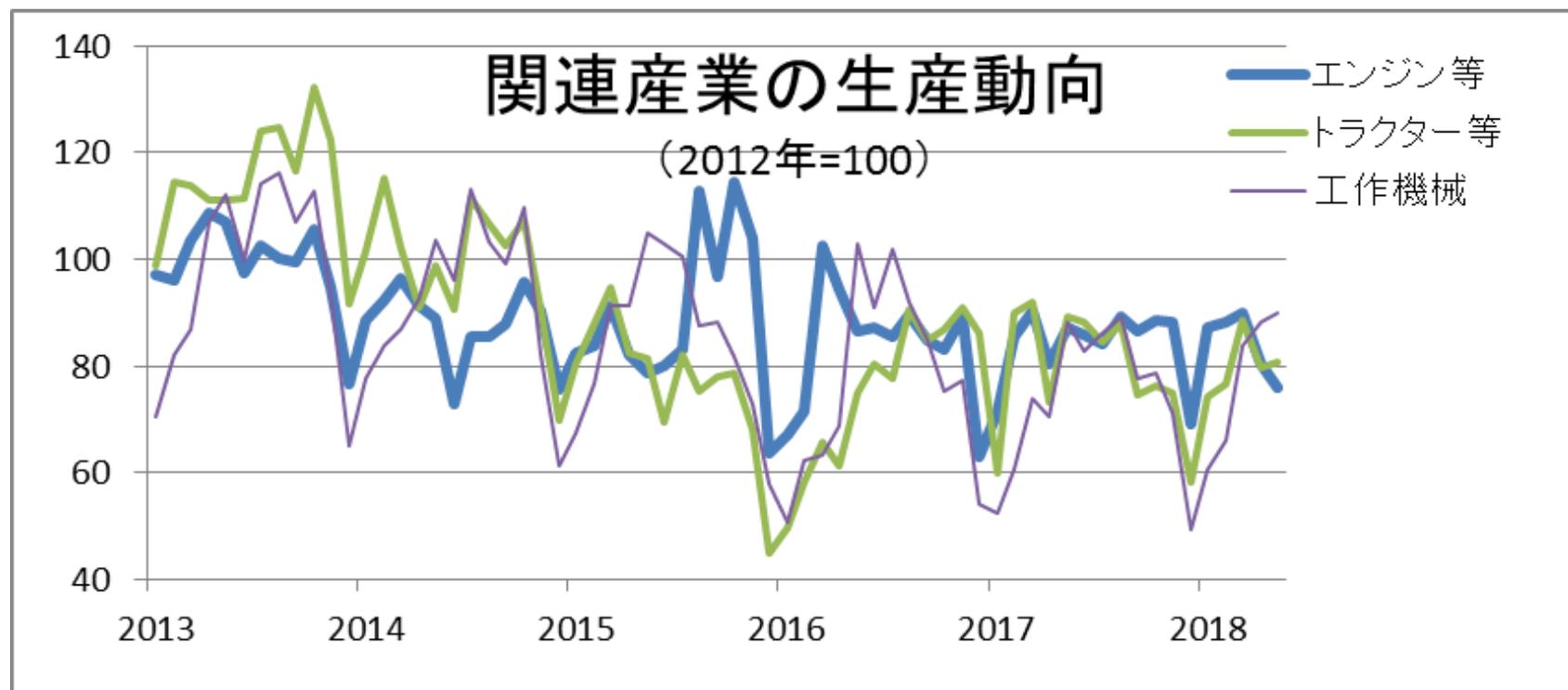
《上期の回顧》

1. 建設機械の需要は、2017年まで落ち込んでいたのに対し、2018年1-5月の需要は、製品により異なるものの、対前年比で+20-30%又はそれ以上の増加。
2. 輸出についても、米国向けなどがアルゼンチン向けの減少を補い、ほぼ同様の傾向。

《下期の展望》

1. 2018年上半期は10月の選挙を視野に入れて官公需が増加していたものが、下期は減少に転じること、不透明な政治情勢が経済界の投資心理にも影響を及ぼしていることから、上半期の勢いが継続するかどうか、慎重に見極める必要がある。
2. 輸出についても、米国の保護貿易措置やアルゼンチン経済の影響を注視する必要がある。

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(1)



28.1 エンジン、ポンプ、コンプレッサー、トランスミッション機器の製造
 28.3 農業および家畜用トラクターおよび機械装置の製造
 28.4 工作機械の製造 以上いずれもIBGE分類

2018/8/23

機械金属部会

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(2)

《切削工具》

1. 主ユーザーである自動車の生産は、前年比では回復しつつあるが、トラック運転手ストの影響や大統領選を控えた時期等の事情から、先行きは不透明。
2. 農業機械、金型分野は比較的堅調に推移。
3. 以上の状況の中、切削工具の需要は上期に引き続き、下期も回復傾向が続くと予想される。

《ベアリング》

自動車生産の状況と連動し、需要は横ばい又は回復傾向。
下期は、レアル安、大統領選の動向が定まらない等の事情から、
2017年と比べ、微増の見通し。

《金属加工油剤、潤滑油》

自動車生産に連動して比較的堅調に推移しているが、伸び率は鈍化傾向。
課題は、レアル安・原油高に伴う輸入原料価格の急上昇。

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連(3)

《小型ディーゼルエンジン》

1. 市場全体としては、上期・下期ともに落ち込み傾向。
2. 日本製多気筒エンジンは、堅調な見通し。

《トラクター》

1. 2017年に需要が回復したが、2018年に入り、再び落ち込んでいる。
2. 下期についても、大統領選の不透明感が農業者の投資心理にも影響していると見込まれる。

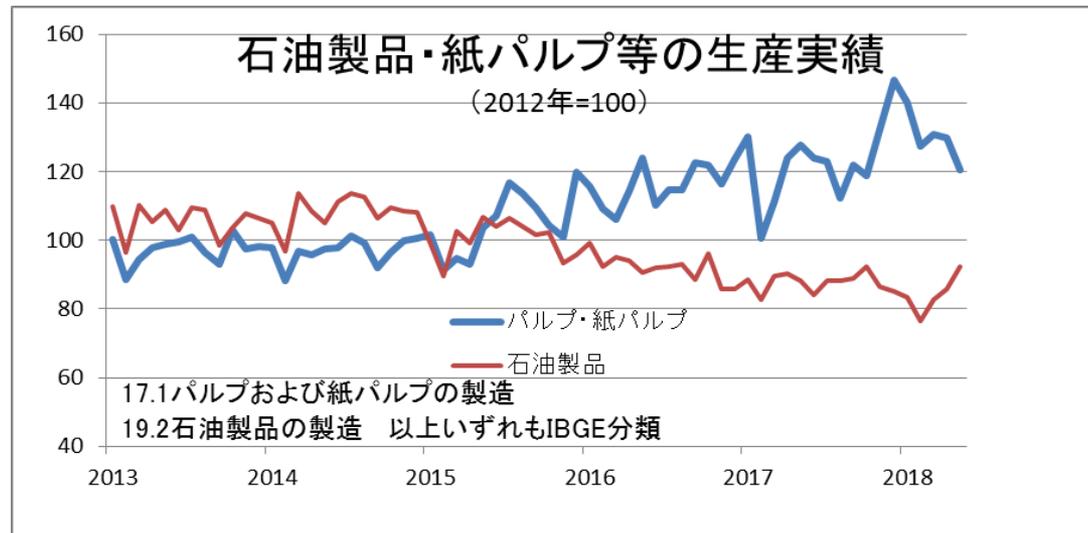
《ポンプ》

景気回復傾向が見られるが、トラック運転手ストやワールドカップの影響により、全般的に足踏み状態。

《プラント向け制御機器等》

1. 2017年におけるGDPプラス成長、原油高、パルプ需要増等に伴い、石油・石油化学・紙パルプ・鉄鋼等の業種で現状設備の更新投資意欲の回復傾向が見られた。
2. しかしながら、投資意思決定には時間を要する見込みであり、引き続き、動向を注視する。

2. セグメント別状況(5) オイル&ガス・紙パルプ



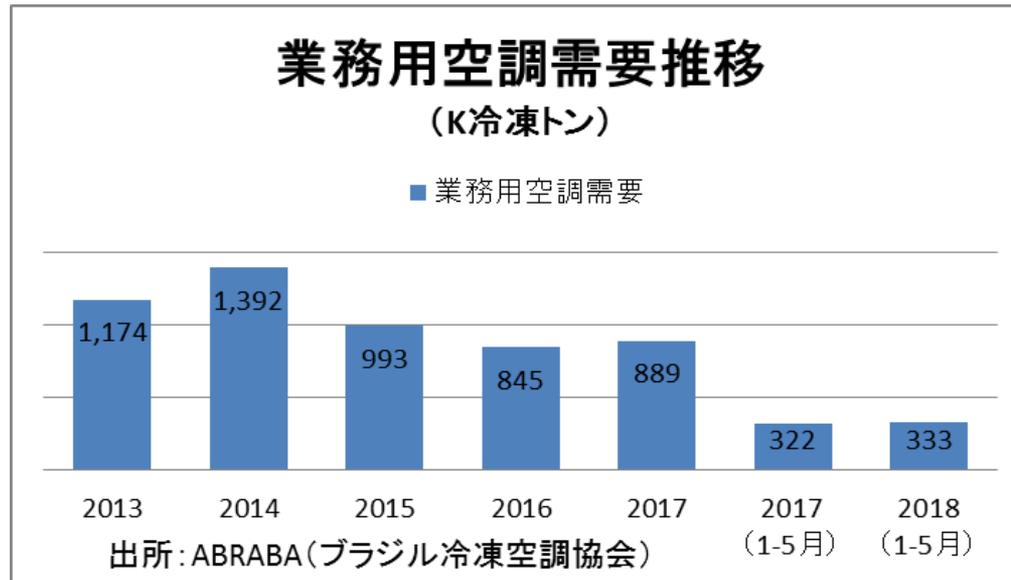
《オイル・ガスマーケット》

1. 引き続き原油価格が上昇(2018年1月:60ドル付近→7月時点:70ドル近辺)
2. また、ペトロブラスの投資計画もあり、オイル・ガスマーケットは上流(ガス生産、ガス処理設備)のプロジェクトが活性化。
3. ただし、大統領選を控えて大型の投資は先送りの傾向が見られる。
4. 一方、下流の石油化学は、投資縮小傾向。日本からの機器輸入は当分先になる見込み。

《紙パルプ》

1. 需要は拡大傾向にあるが、トラック運転手ストの影響もあり、直近では生産減少傾向にある。
2. 紙パルプ大手が中規模プラントの計画を発表しており、これに期待したい。

2. セグメント別状況(6) 業務用空調



1. 2017年下期からの需要回復傾向が空調需要期である2018年最初も続いたが、その後需要期終了と経済回復の鈍化もあり、上期では対前年比103%となった。
2. 10月の選挙結果や季候にもよるが、11月以降の需要期に商工業の起伏期待も含め5~10%の伸びを予想。

3. 副題について

大統領選を直前に控えて - 変化の時期への準備と戦略は

1. 各種指標に見られるように、数年間のトレンドの中では景気回復は確かなようであるが、一方で不透明感は拭えない。
2. しかしながら、為替レートの変動を含め、ブラジルの政治・経済には変動と先行き不透明感につきものであり、一喜一憂するのは得策ではない。
3. 会員企業各関係先との長期的・継続的な信頼関係の構築が不可欠。
4. 日・メルコスールEPA協定締結等を通じ、ブラジルの製造業に貢献するという視点も不可欠ではないか。

ご清聴ありがとうございました。

Obrigado!